

## 下郷町立楳原小学校

教科名等：学級活動

単元(題材)名：「自分に合った職業を選ぶためには」

学年：第5学年

### 実施状況

9月10日（金）に公開し、地域の方々や保護者、本校教職員に参観していただきました。男女共同参画について、事前に子どもたちの意識を調査したところ、職業に対するジェンダーにとらわれた考え方を持っていることが明らかになりました。

そこで本時では、まず自分たちの将来の夢を男女入れ替えて考えさせることで、自分たちがジェンダーにとらわれた職業観を持っていることに気づかせました。そして、事前アンケートで特に顕著な結果が見られた「消防士」と「幼稚園の先生」について男女どちらに向いているかを話し合わせる中で、個性の重要性に気づかせました。さらに、性別にとらわれることなく自分の個性に合った職業を選択した人たちの実例を紹介し（女性消防士・男性幼稚園教諭）、職業選択に対する考え方を深めさせることができました。

男女のイメージにとらわれず、自分の個性を見つめた上で職業や役割につくことの大切さに気づかせることができました。

### 児童の感想

- ・ 仕事にも種類によって男女の区別があると思っていた。しかし、今日の授業で仕事に男女の区別はないということが分かった。
- ・ 女の人が消防士をしていたり、男の人が幼稚園の先生をしていたりしているというのがびっくりした。
- ・ 消防士は男、幼稚園の先生は女だと思っていたけれど、今日みんなで話し合ったり、2人の人を紹介されたりして、男女関係なく自分がやりたいと思った仕事を選ぶのがいいと思いました。
- ・ 男女のイメージに関係なく、自分の良いところが一番發揮できる職業につきたいと思った。

### 参観者の感想

- ・ 男女共同参画については子どもたちは素直に受け入れられるかもしれないが、大人が受け入れていく方が難しい気がした。
- ・ 子どもたちの価値観を変えるきっかけとなる授業だった。
- ・ 個性重視の生活を大切にしてほしい一方、男らしさ、女らしさということもなくしてほしくない。
- ・ 家では教えることが難しいため授業できっかけを作ってもらい、よかった。



### 指導者の感想

本学級は男女が協力し合って生活する姿が見られます。本時の授業を行うことで過剰な意識があおることがないよう配慮しながら授業を進めました。子どもたちはこれから成長していく過程で「男」「女」について考えるよいきっかけになると思いました。

また、参観していただいたたくさんの方々に、職業に対するジェンダーにとらわれた考え方があることに気づいていただけたことは、今後の社会教育や家庭教育の充実につながるものと感じています。

